

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東  
 コード番号 8254 URL http://www.saikaya.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 古性 武志 (TEL) 044 (211) 3157  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	25,723	△7.3	321	△24.8	230	△0.8	△1,228	—
26年2月期第3四半期	27,743	△4.6	426	△37.7	232	△51.4	185	△63.2

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △1,216百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 194百万円 (△62.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△39.36	—
26年2月期第3四半期	5.93	4.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	22,535	2,113	9.4
26年2月期	22,724	3,330	14.7

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 2,113百万円 26年2月期 3,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△7.2	440	△2.4	290	45.6	3,300	—	105.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期3Q	31,353,142株	26年2月期	31,353,142株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	136,146株	26年2月期	132,746株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期3Q	31,218,621株	26年2月期3Q	31,223,390株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は平成27年1月13日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をごらんください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 連結売上高の内訳	11
(2) 店別売上高(単体)	11
(3) 商品別売上高(単体)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和の効果により企業収益の改善が図られ、輸出は横ばいとなっているものの、設備投資は増加傾向にあります。個人消費については、持ち直しの動きがみられるものの、このところ足踏みがみられ、雇用・所得環境については改善傾向が続いています。総じて、景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、円安進行による原材料費高騰や消費者マインドの低下、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクもあり、先行きについては予断を許さない状況となっています。

百貨店業界におきましては、3月の売上高は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により前年対比で大幅に増加いたしました。その反動により4月以降の売上高は前年対比で減少が続きました。その後、次第に影響は和らぎ、多くの地区で減少幅は縮小してきているものの、訪日外国人売上高の増収効果が大きい大都市の百貨店に比べ、地方・郊外の百貨店は厳しい状況が続いています。

このような状況の下、当社は今年度を「強固な企業体質を構築する年度」と位置づけ、2年目を迎える中期経営計画の数値目標を現在の営業状況を考慮した数値目標に修正するとともに、新たに策定した重要戦略である「売上高増加のための売場改善」、「収益力強化」、「外商機能の強化」の実行に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、3月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、美術・宝飾品などの高額品、寝具・家電などの家庭用品が好調に推移し、大幅に売上高を伸ばし好調なスタートとなりました。4月以降は駆け込み需要の反動や、7月、8月の天候不順による影響で売上高は前年対比で減少が続きましたが、営業施策の積極的な展開や経費削減に努めたことにより、営業利益は黒字を確保することができました。

当第3四半期連結累計期間において実施した今年度の重要戦略に基づく施策といたしましては、利益率向上のため各店において自主編集売場で販売する商品の取扱いを増やすとともに、手数料収入の増加を図るため、外部との提携により外商担当者が取扱う商品・サービス拡充に努めました。また、5月から開始した通信販売など、株式会社エーエフシーとの提携による健康食品の販売施策が成果を挙げているほか、9月1日から、京浜急行電鉄株式会社が運営する「京急プレミアポイント」の加盟店に加わり、京浜急行沿線顧客の販促強化、新規顧客開拓を図るとともに、11月1日からは、横須賀店において、神奈川県内の百貨店としては初となる移動販売車による営業を開始するなど、より地域に密着した営業施策を展開いたしました。

一方、ローコストオペレーションを更に推進するため、引き続き、店舗の維持管理費用などの物件費や広告宣伝費削減を中心とした経費削減に取り組むとともに、経営資源の集中を図るため、8月に非連結子会社である株式会社エフ・アンド・エス・ツーの全株式を売却し、グループの体質強化を図りました。

以上のような諸施策を積極的に展開したものの、商圏間や近隣商業施設との競争激化による売上高の減少が依然として続いており、経費削減に努めましたが、減収減益となりました。また横須賀店の収益力低下が長期化し、減損の兆候が認められたことから、精査の結果、固定資産の減損損失1,405百万円を計上するにいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は25,723百万円（前年同期比92.7%）、営業利益は321百万円（前年同期比75.2%）、経常利益は230百万円（前年同期比99.2%）、四半期純損失は1,228百万円（前年同期は185百万円の四半期純利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べ189百万円減少し22,535百万円となりました。負債については、前連結会計年度末に比べ1,028百万円増加し20,421百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ1,217百万円減少し2,113百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ724百万円増加し2,100百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,793百万円の収入（前年同期比307百万円の収入の増加）となりました。主な増加項目は、減損損失1,405百万円および減価償却費788百万円ならびに仕入債務の増加額594百万円等であり、主な減少項目は、税金等調整前四半期純損失1,233百万円および売上債権の増加額267百万円ならびにたな卸資産の増加額176百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、326百万円の支出（前年同期比86百万円の支出の減少）となりました。主な増加項目は、定期預金の払戻による収入170百万円等であり、主な減少項目は有形固定資産の取得による支出145

百万円および長期前払費用の取得による支出250百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、742百万円の支出（前年同期比13百万円の支出の増加）となりました。主な減少項目は、長期借入金の返済による支出657百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成26年9月26日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「固定資産減損損失の計上および業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,446,123	2,100,885
売掛金	674,645	942,096
商品	1,410,707	1,588,423
貯蔵品	49,516	48,157
その他	244,226	299,094
流動資産合計	3,825,218	4,978,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,513,250	6,641,868
土地	7,363,709	7,363,709
リース資産(純額)	34,046	317,140
その他(純額)	27,519	79,746
有形固定資産合計	15,938,525	14,402,465
無形固定資産		
その他	93,818	126,906
無形固定資産合計	93,818	126,906
投資その他の資産		
投資有価証券	347,893	357,089
敷金及び保証金	2,043,639	2,121,151
破産更生債権等	21,885	19,612
その他	473,058	547,004
貸倒引当金	△19,650	△17,500
投資その他の資産合計	2,866,827	3,027,357
固定資産合計	18,899,172	17,556,730
資産合計	22,724,390	22,535,388
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	51,400	45,808
買掛金	2,435,178	3,035,516
短期借入金	48,000	36,000
1年内返済予定の長期借入金	744,710	5,164,167
未払法人税等	22,226	19,052
商品券	1,229,587	1,186,901
賞与引当金	11,266	37,716
商品券回収損引当金	638,049	625,929
ポイント引当金	173,422	127,947
その他	887,077	1,754,195
流動負債合計	6,240,917	12,033,233
固定負債		
長期借入金	11,744,127	6,666,679
繰延税金負債	224,444	216,867
退職給付引当金	408,217	418,116
資産除去債務	228,681	231,414
その他	547,164	855,360
固定負債合計	13,152,635	8,388,438
負債合計	19,393,552	20,421,671

純資産の部			
株主資本			
資本金	1,945,290		1,945,290
資本剰余金	1,637,078		1,637,078
利益剰余金	△232,401		△1,461,302
自己株式	△41,766		△41,988
株主資本合計	3,308,201		2,079,077
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	22,636		34,638
その他の包括利益累計額合計	22,636		34,638
純資産合計	3,330,837		2,113,716
負債純資産合計	22,724,390		22,535,388

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	27,743,213	25,723,682
売上原価	21,594,649	20,040,083
売上総利益	6,148,563	5,683,599
販売費及び一般管理費	5,721,727	5,362,489
営業利益	426,835	321,109
営業外収益		
受取利息	2,633	1,067
受取配当金	3,025	3,045
固定資産受贈益	-	103,643
負ののれん償却額	10,689	-
その他	12,283	18,681
営業外収益合計	28,631	126,438
営業外費用		
支払利息	202,627	193,210
その他	20,552	23,873
営業外費用合計	223,179	217,084
経常利益	232,287	230,463
特別利益		
関係会社株式売却益	-	10,900
特別利益合計	-	10,900
特別損失		
固定資産除却損	46,393	69,663
減損損失	-	1,405,178
特別損失合計	46,393	1,474,841
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	185,893	△1,233,478
法人税、住民税及び事業税	10,012	9,634
法人税等調整額	△9,282	△14,212
法人税等合計	730	△4,577
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	185,163	△1,228,901
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185,163	△1,228,901

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	185,163	△1,228,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,130	12,002
その他の包括利益合計	9,130	12,002
四半期包括利益	194,294	△1,216,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,294	△1,216,898
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	185,893	△1,233,478
減価償却費	762,528	788,067
減損損失	-	1,405,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,470	△2,150
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	△1,938	△12,120
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,189	26,450
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,164	9,898
ポイント引当金の増減額(△は減少)	-	△45,475
受取利息及び受取配当金	△5,658	△4,113
支払利息	202,627	193,210
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△10,900
固定資産除却損	46,393	69,663
売上債権の増減額(△は増加)	△284,932	△267,451
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,225	△176,358
仕入債務の増減額(△は減少)	648,162	594,745
その他	124,658	700,440
小計	1,733,844	2,035,607
利息及び配当金の受取額	5,658	4,024
利息の支払額	△236,310	△207,904
訴訟関連損失の支払額	-	△28,783
法人税等の支払額	△17,062	△9,360
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,486,129</b>	<b>1,793,584</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△70,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	90,000	170,000
有形固定資産の取得による支出	△458,654	△145,021
無形固定資産の取得による支出	△2,730	△43,889
投資有価証券の取得による支出	△550	△557
関係会社株式の売却による収入	-	20,900
差入保証金の差入による支出	-	△81,938
差入保証金の回収による収入	208,000	4,426
長期前払費用の取得による支出	△233,141	△250,335
その他	54,481	100,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△412,596</b>	<b>△326,415</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,000	△12,000
長期借入れによる収入	2,238,960	-
長期借入金の返済による支出	△2,796,076	△657,990
社債の償還による支出	△140,000	-
リース債務の返済による支出	△19,945	△72,194
その他	△70	△222
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△729,131</b>	<b>△742,406</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	344,401	724,761
現金及び現金同等物の期首残高	1,741,987	1,376,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,086,388	2,100,885

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前第3四半期 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		当第3四半期 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	27,704,643	97.9	25,696,139	97.8	△2,008,503	92.8
アルファトレンド㈱	567,121	2.0	560,812	2.1	△6,309	98.9
㈱さいか屋友の会	13,506	0.1	12,931	0.1	△575	95.7
小計	28,285,271	100.0	26,269,882	100.0	△2,015,388	92.9
内部売上高の消去	△542,057	—	△546,200	—	△4,142	—
合計	27,743,213	—	25,723,682	—	△2,019,530	92.7

## (2) 店別売上高(単体)

	前第3四半期 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		当第3四半期 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
川崎店	7,842,478	29.2	7,361,254	29.6	△481,224	93.9
横須賀店	7,335,160	27.3	6,868,388	27.6	△466,771	93.6
藤沢店	10,895,503	40.5	10,026,910	40.4	△868,593	92.0
町田ジョルナ	820,148	3.0	589,048	2.4	△231,100	71.8
小計	26,893,291	100.0	24,845,601	100.0	△2,047,689	92.4
テナント及び手数料収入	811,351	—	850,537	—	39,185	104.8
合計	27,704,643	—	25,696,139	—	△2,008,503	92.8

## (3) 商品別売上高(単体)

	前第3四半期 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)		当第3四半期 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	8,230,614	30.6	6,797,069	27.4	△1,433,545	82.6
身回品	1,994,969	7.4	2,500,823	10.1	505,854	125.4
雑貨	3,891,059	14.5	3,983,435	16.0	92,375	102.4
家庭用品	949,693	3.5	802,515	3.2	△147,178	84.5
食料品	9,522,996	35.4	8,718,935	35.1	△804,060	91.6
食堂・喫茶	881,300	3.3	915,156	3.7	33,856	103.8
その他	1,422,657	5.3	1,127,665	4.5	△294,991	79.3
合計	26,893,291	100.0	24,845,601	100.0	△2,047,689	92.4

外商扱高	5,522,132	20.5	7,505,465	30.2
------	-----------	------	-----------	------

※本年度より外商扱高の範囲を拡大しております。